

令和 4 年 9 月 26 日
Sep 26, 2022

大学院学生各位
To All Graduate Students

令和 4 年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture (TOKURON) 2022

題目：ゲノム安定性に維持における RNA の役割

Title: RNA biology in maintaining genome stability

講師：西 良太郎先生

東京工科大学 応用生物学部 准教授

Teaching Staff: Dr. Ryotaro Nishi, Associate Professor

School of Bioscience and Biotechnology, Tokyo University of Technology

日時：令和 4 年 10 月 25 日（火）16:00～17:30

Time & Date: 16:00～17:30, Oct 25th (Tue), 2022

場所：環境医学研究所南館大会議室

Room: S-204 (Meeting Room), South Building, Research Institute of Environmental Medicine
(Higashiyama Campus)

言語：日本語 Language: Japanese

{特論の概要}

遺伝情報を保持するゲノム DNA を安定に保持することは生命にとって非常に重要である。その一方で、ゲノム DNA には多様な要因により損傷が生じることが知られている。DNA 二本鎖切断は、これらの損傷のなかでも最も細胞毒性が高いものの一つである。ヒトにおける DNA 二本鎖切断の修復は、主に非相同末端再結合及び、相同組換え修復の二つの機構によって担われている。これらの修復機構の分子メカニズムの詳細が明らかにされつつあるが、近年では RNA の関与が注目を集めている。本特論では、DNA 二本鎖切断の修復において RNA によって制御される機構を概説しつつ、我々の最近の研究成果についても紹介する。

関係講座・部門等の連絡担当者：環境医学研究所 ゲノム動態制御分野(分子機能薬学) 金尾 梨絵(内線 3871)
(鶴舞・大幸地区からは、85-3871)

Contact: Dept. of Genome Dynamics, Research Institute of Environmental Medicine.
Phone: ext. 3871 (or 85-3871 from Tsurumai & Daiko campuses)

[注意] 事前の申込みは不要です。
Notice: No registration required.

医学部学務課大学院掛
Student Affairs Division, School of Medicine